



海面上昇による海岸侵食の激化で、 存亡の危機にある島嶼国を支援します。

2003年度より支援を開始するプロジェクトです。

南太平洋の珊瑚礁でできた海拔の低い島々は、地球温暖化*による海面の上昇で、存亡の危機に晒されています。この影響で、井戸水の海水化という問題も発生しています。珊瑚礁の島々は、山がなく雨水を貯える機能がないため、飲料水や生活水の確保は重要です。一方、温暖化による気候変動で、雨期乾季の差が不明瞭になり、年間を通じて雨量

は増えています。こういった気候変動をとらえ、私たちは、飲料水の確保を支援するために、雨水貯蔵タンクを設置することにしました。2002年度は、島嶼(しょ)国とのコネクションづくり、支援計画の立案などを行いました。2003年度中には、キリバスのクリスマス島に、雨水貯蔵タンクを設置する計画です。

*先進諸国での火力発電や、自動車の使用などによって排出された二酸化炭素により、地球の温度が上昇し、南極の氷などが海に溶け出しました。現在、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑制するために、国際的な取り組みが展開されています。日本は、2008～2012年度までに、1990年度比で6%の二酸化炭素排出量を削減することを国際社会に公約しています。